

資料 2

農で地域のファンづくり！ 猿払村 × おてつたびの取組み

地域農業の未来をつなぐ 農業人材確保セミナー

本日の流れ

自己紹介

猿払村の紹介

施設園芸の紹介

おてつたびの紹介

自己紹介

新家拓朗 しんやたくろう

北海道猿払村

企画政策課 課長補佐

1980年2月13日生 41歳

みずがめ座、申年、RH +A型

1998年猿払村入庁 24年目

自己紹介

担当してきた仕事

- 1年 税務 18歳-
- 7年 広報、まちづくり 19歳-25歳
- 8年 IT関係、給与事務 26歳-33歳
- 8年 まちづくり、広報、地方創生
ふるさと納税、移住、総合計画 33歳-

自己紹介

現在は

企画政策課 課長補佐 という立場で

総合計画、地方創生、広報、
ふるさと納税、移住、地域プロモーション
地場産品開発、地域ブランディング

などの業務を担っています。

自己紹介

生まれも育ちも猿払の私は
猿払を誇りに思っています

そして、猿払が
活力を持続した状態で後世に残るべく

基幹産業やそこに住う人々の暮らしが
今よりも豊かになるように

与えられた環境でもがいている人間です

猿払村概要



- 日本最北に位置する村
- 面積約 5 9 0 km²
日本で 2 番目
北海道で 1 番広い村
- ・ 東京23区の面積619 km²より
少し小さい程度

猿払村概要



猿払村道 通称エサヌカ線 ライダーとチャリダーの聖地

猿払村概要



夕陽で赤く染まるエサ又カ線

猿払村概要



オホーツク海から昇る朝陽

猿払村概要



神々が住むといわれるカムイト沼

猿払村概要



冬には、オホーツク海に流氷が押し寄せる

猿払村概要

東京から飛行機と車で
3時間ほど

人口約2,700人

高齢化率22.8%

北海道179市町村のうち2番目に低い

合計特殊出生率2.19

全国平均を大きく上回る

SARUFUTSU PROFILE

日本最北端の村

はじめまして、北海道猿払村です。
猿払村は“日本最北端”にある村ですが
東京までの所要時間は約3時間。

そんな猿払村をこれから8つの
視点でご案内していきます。

まずは人口や面積など
簡単な自己紹介から。

ようこそ！猿払村へ！



猿払村概要

○猿払村漁業協同組合

正准組合員 269名 職員49名

令和3年度

ホタテ水揚げ量 51,634トン

水揚高 約107億円

主要魚種

(ホタテ、毛がに、鮭、鱒)



猿払村概要

○東宗谷農業協同組合
(猿払村、浜頓別町、中頓別町で構成)

正組合員 160名 従業員数119名

令和2年度

生産乳量 38,403トン

生産高 36億6千万円

7,500頭を超える乳牛が！



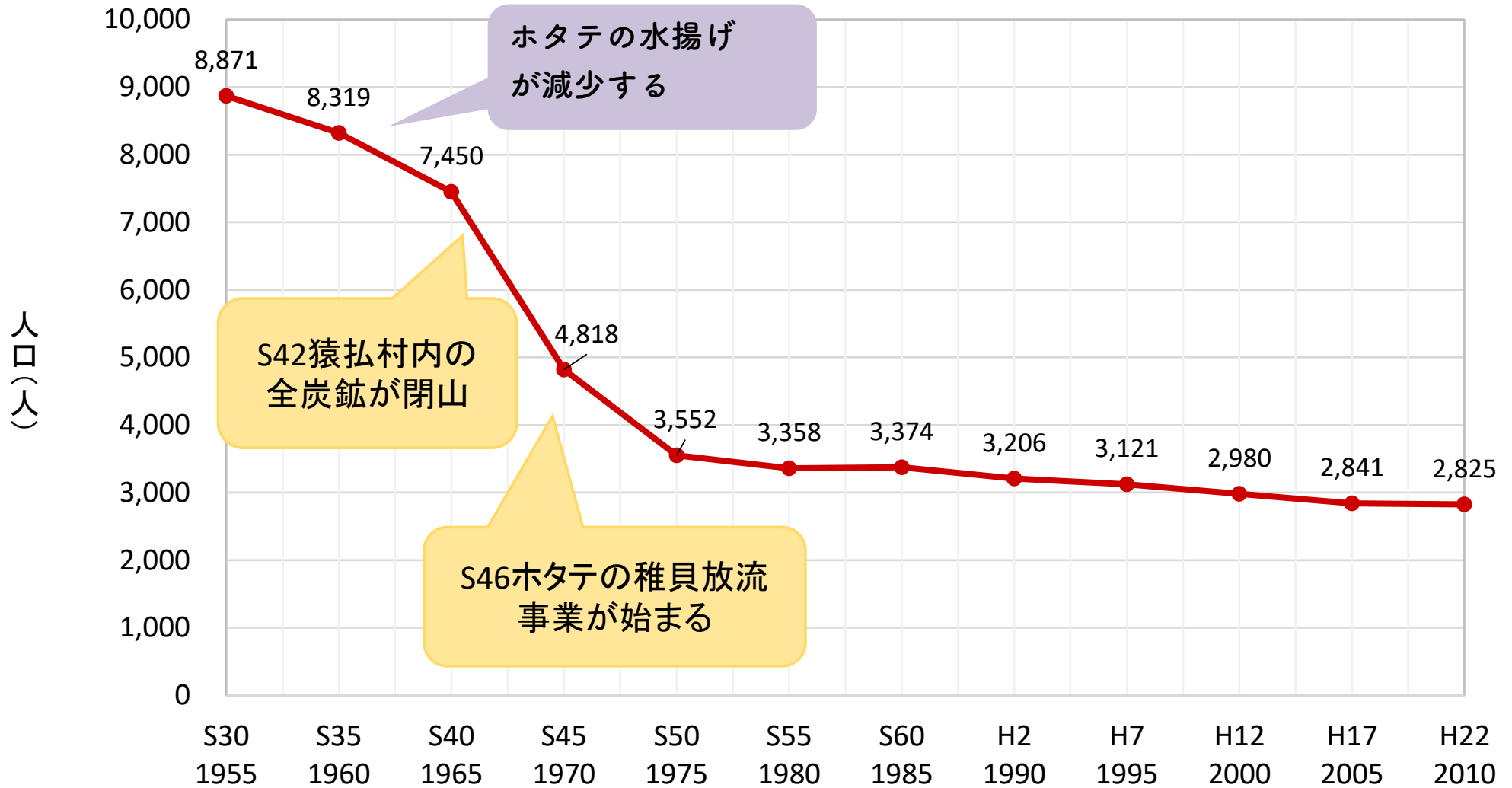
猿払村概要



- 2大基幹産業を有しながらも
人口減少がゆるやかに進行
- 人口・事業所の減少により
就労人口が減少
- 酪農業の後継者・担い手対策
- 定住・移住対策を推進も雇用が不足

猿払村概要

総人口の推移



出典:総務省「国勢調査」

猿払村概要

国勢調査人口の推移

| | |
|-------|--------|
| 1995年 | 3,155人 |
| 2000年 | 3,017人 |
| 2005年 | 2,941人 |
| 2010年 | 2,815人 |
| 2015年 | 2,783人 |
| 2020年 | 2,766人 |

25年で389人、12.3%の減少

若い世代の転出超過（10代～30代）

- ・高校や大学進学時に村を離れ、戻ってくる人口が少ないまま続いている。
- ・Iターンなどの転入が少ない。

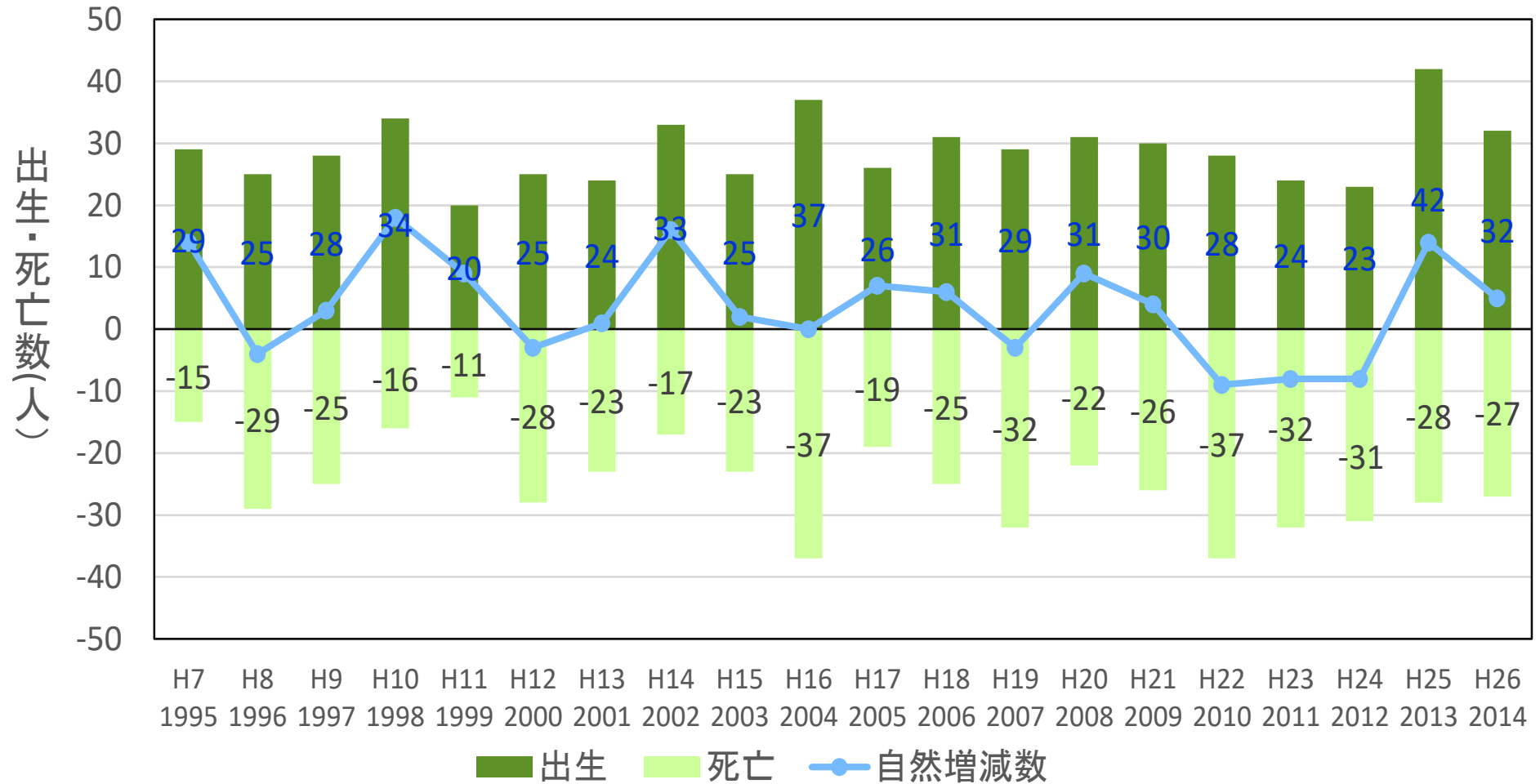
1世帯あたりの人口の減少

- ・単身世帯の増加。
- ・未婚率の上昇。
→結婚による家族の増加など、世帯あたりの人口が増えることが少ない。

高齢者人口の転出超過（60代）

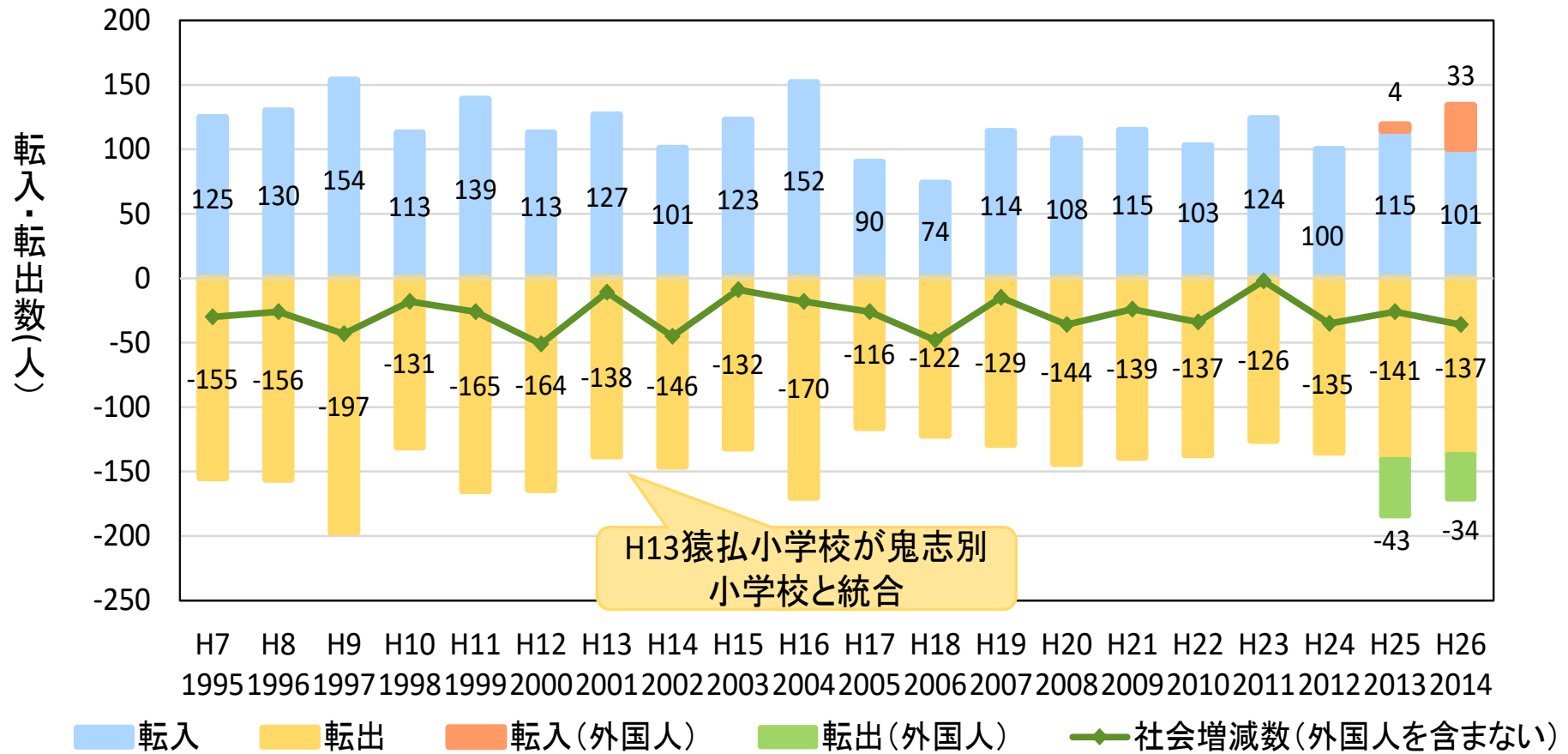
- ・退職後に転出される傾向にある。

猿払村概要 出生・死亡数の推移



出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

猿払村概要 転入・転出の推移



出典:総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

村の課題を受けて

二大基幹産業に次ぐ産業の必要性

北海道北部冷涼な地域で可能な農業

新たな雇用で、移住希望者の受け皿

施設園芸栽培調査研究事業

新産業創造プロジェクト

施設園芸栽培調査研究事業

施設整備、野菜・イチゴの栽培

食と健康プロジェクト

村民の健康を食から向上

既存産業との連携

新商品開発、エネルギー対策



◆持続可能な活力ある村の実現

天候等に左右されにくい「施設園芸」

具体的な栽培等のデータを収集し、村に適した農業を模索

新規就農希望者や企業誘致に魅力的な農業のスタイルを模索

施設園芸栽培調査研究事業

栽培調査研究は3年間で予定

- ・ 野菜やイチゴの栽培
- ・ 消費者動向調査（販売）
- ・ IoT技術を活用した環境・栽培データの取得

猿払村に適した施設園芸のあり方を示す

「猿払村施設園芸栽培マニュアル」の作成が目標

作物

春～秋 **イチゴ**（高設栽培）

秋～冬 **葉物野菜等**（土耕栽培）

- ・ 同じハウス内で通年活用できる手法を検証
- ・ 加温コストと収量について分析

施設園芸栽培調査研究事業



施設園芸栽培調査研究事業



施設園芸栽培調査研究事業

葉物野菜

①事業期間

2020年10月1日 ~ 2021年2月8日

②栽培品種と定植株数

| | |
|------------|-------|
| ・サニーレタス 2種 | 1216株 |
| ・チンゲン菜 | 800株 |
| ・ミニ白菜 | 476株 |
| ・小松菜 | 1920株 |
| ・ほうれん草 | 1280株 |



施設園芸栽培調査研究事業

③品種の選定

猿払村の冬の寒さに耐えることができ、かつ栄養価の高い6品種を選定

④栽培方法

土耕栽培かつ無加温での栽培

9月：播種

10月：定植

10～11月：育成

12～2月：収穫



④実証成果

ビニールハウスによる無加温での生育はとても良好。
また、村内での販売についても売れ行きは大変良好。
一部、品種では課題も。

⑤収穫野菜の用途

【施設や収穫された野菜の使用用途】

- ・ 村内小売店での販売調査
- ・ 保育所や小・中学校への給食食材として提供
- ・ 特別養護老人ホームへの食材提供
- ・ 保育園児による収穫体験

施設園芸栽培調査研究事業

イチゴ

①事業期間

2021年3月16日 ~ 2021年11月30日 ※一部9/30で終了

②栽培品種と定植株数

| | |
|--------------|-------|
| ・ 信大BS 8 - 9 | 960株 |
| ・ すずあかね | 400株 |
| ・ エンジェルエイト | 272株 |
| ・ 桃薫 | 280株 |
| 合計 | 1920株 |



③栽培調査

4品種1920株のうち、10株ずつ生育調査や収穫調査を実施

※1「生育調査」

草丈や開花日、花数などを調査

※2「収穫調査」

一粒ずつの重量や糖度測定、生食用又は加工用かを選別

④品種の選定

猿払村の冷涼な気候を活かし、夏季に栽培が可能な品種を選定。

桃薫は唯一の一季成り性イチゴ。猿払村の冷涼な夏での栽培の可能性を探るため選定。

⑤栽培方法

高設栽培

環境統合制御装置等の活用で気温を一定に保つ。

3月：定植

4月～5月：生育時期

6月～：収穫・生育時期

施設園芸栽培調査研究事業



施設園芸栽培調査研究事業

⑥実証成果

一部品種で苗が原因による生育不良はあったが、収穫量は全国平均を上回り概ね良好。

生食で食べられる率は、低いのでその点が課題となった。

⑦収穫イチゴの用途

- ・村内スーパーでの販売調査
- ・保育所の給食提供（おやつ）
- ・各団体活動への提供
- ・保育所園児、小学校児童の収穫体験



施設園芸栽培調査研究事業



おてつたび × 猿払村

ENCOUNTER WITH OTETSUTABI

This conversation has ended

TUE, Feb 9, 9 PM (GMT+9)

【ゆるトーク】おてつたびの人と「地域」などを語る部屋
#2 🍀喋りたい人は👏お願いします！



w/ Shoichiro Naya, りな @おてつたび, takuro shinya — 地域のことをはじめ、ゆるく雑談をします！SPゲストは、日本最北端の村である北海道猿払村の新家さん！ぜひ皆さん一緒にゆるく喋りましょう。（22時頃までを予定）

おてつたびのサービスは知っている程度で、深く内容を知らなかった。

公務員仲間が代表の永岡さんとの接点を作ってくれた

当時、盛り上がっていたclubhouseで地域を語るという部屋で対談

そして、WEB MTGを3日後に。

ENCOUNTER WITH OTETSUTABI

POINT



POINT 1
お手伝いを通じて
地域の方と関係性ができる！

地域には様々な困りごとが溢れています。地域の方は人手不足で困っているのでお手伝いは正直大変なことも多いですが、一緒に本気で手伝うからこそ地域の方と関係性が出ると私たちは思っています



POINT 2
知らない地域に
行くキッカケができる！

「どこそこ？」と思う地域も、行ってみたら素敵なものがある地域は沢山あります。おてつたびを通して色々な地域へ行き、自分にとっての魅力的な地域を見つけてみてください



POINT 3
お手伝いすることで報酬をゲット！
旅費等の削減が可能に..！

行きたい！と思った地域も意外と旅費が高くて行くのが難しいときも... おてつたびでは、お手伝いすることによって報酬をゲットできるのでその分旅費を削減できます

WEB MTG時の
永岡さんのお話と
おてつたびの**理念**に強く**共感**

労働だけではない**地域**との**関係性**

知らない**地域**に行く**きっかけ**

参加者も**報酬**を得ながら**参加**

ENCOUNTER WITH OTETSUTABI

POINT

事業者だけでなく
地方自治体が
取り組む意義があると感じた

ENCOUNTER WITH OTETSUTABI



ツイート

シェア

最北の村でゆったりと流れる贅沢な時間を過ごしませんか！

私たちが大切にしたいポイント

ご縁を大切にします

おてつたびで新たな縁を生み、その縁を育てていきたいです。

ご参加された皆さまには日常に戻っても、ふとした瞬間に猿払を思い出していただきたい。

継続したつながりを目指して

一度きりではなく、お互いに「また来るね」「またおいでね」と次につながる関係性を作り出せたら最高です。

ENCOUNTER WITH OTETSUTABI

スタートにあたって、村の狙い4点

- 人手が不足している施設園芸のスタッフ充実
- 未来の地域おこし協力隊を射止める
- 猿払村のファンづくり
- 村内の民間事業者さんへの波及

OTETSUTABI

初のおてつたび 令和3年3月



📍 北海道 猿払村 (さるふつむら)

【3月】 \最北の村にて /イチゴの定植作業のお手伝いください！作業は2日間、猿払をご案内する時間をご用意！

💰 ¥20,000 ~ 👤 2名まで

作業を要する日は2日間
5日間の日程で募集

- 1日目 移動日
- 2日目 猿払をご案内
- 3日目 お手伝い
- 4日目 お手伝い
- 5日目 移動日

倍率4.5倍と予想を超える申込み
募集案内は、サイトからシンプルな操作で可能。

OTETSUTABI

初のおてつたび



3/14 - 3/18

いちごの苗の定植作業

約2,000株の苗を2日間で植えました。

受け入れは2名の大学生

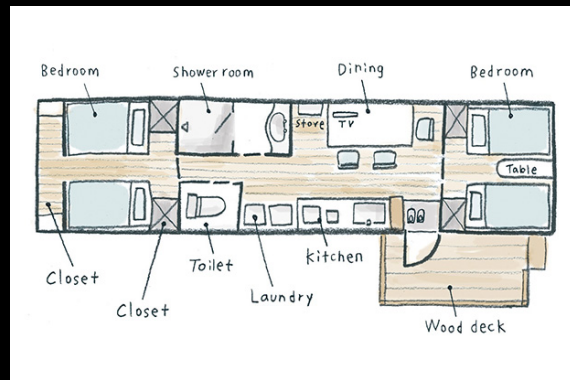
プラス、長女が帰省していたので参加
同世代の3人で仲良く作業

お2人は黙々と作業に没頭され

本当に助かりました。

OTETSUTABI

おてつたびの住環境



普段は移住体験住宅として使用している住宅を使用

リビング、個室2部屋（ベッドあり）、シャワー、キッチン、トイレ、Wi-Fi環境完備

テレビ、エアコン、ストーブ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、トースター、ドライヤーあり

住宅に調理用具があるので、食事も食材があれば調理可能

OTETSUTABI

2年目のおてつたび



令和3年度は、定植に加えて収穫作業でのおてつだいも。

おためし地域おこし協力隊という制度を活用。

7回×2名で14名の受入を計画。

OTETSUTABI

初のおてつたび



10日間の内訳

初日と最終日は移動日

7日間がおてつだいをする日

1日休息日を設定して、村をご案内

OTETSUTABI

初のおてつたび



OTETSUTABI

初のおてつたび



OTETSUTABI

おてつたび 受け入れて 感じたコト

三大都市圏からの申し込みが多い。

北海道からの応募者も一定数あり。

猿払村は比較的若い世代、女性の申し込みが多い。



OTETSUTABI

おてつたび 参加者の声

生き生きと楽しんで作業をされている姿がとても印象的で、農業に対する印象ががらりと変わりました

猿払村で暮らす人たちや見られる景色、食べられる食べ物、全てが最高で絶対にまた戻ってきたいと心から思えるそんな場所でした！

自然が豊かな猿払村の他の季節も感じたいし、お世話になった方々にお会いするためにぜひまた訪れたいです！

旅行では出来ない体験が出来てとても貴重な経験になりました。

皆さんがいらっしゃる、心落ち着く風景のある猿払に「絶対にまた行きたい！」と思えるおてつたびでした

OTETSUTABI

おてつたび 参加者の声

地域おこし協力隊の方とも交流できたのはとても貴重だったと思います。

ここに行きたいからいく、ではなくこの人に会いたいからいく、という場所ができました。

近くに行くことがあったら、足を延ばしてでもまた訪れたいです。

普段あまりできない農業を経験できて、作業の合間に色々なお話ができて、とても楽しかった

「また行きたい」と思える場所は、「また会いたい」と思える人たちがいるかどうかという点が非常に重要なのですが、猿払村はそれにふさわしい魅力ある地域でした。季節を変えて、何度でも足を運びたいです！

OTETSUTABI

おてつたび 参加者さんとのつながり

「猿払村を語る座談会」 オンラインで座談会を開催
おてつたび経験者6名が参加
おてつたびの社員さんも1名参加



OTETSUTABI

おてつたび 参加者さんとのつながり

座談会の様子は猿払村公式note
の記事でご紹介。

猿払村の印象

遠い場所へのおてつたびを決め
た理由

猿払村までの移動って大変？

猿払村との繋がり

施設園芸栽培の可能性

座談会をやってみて

盛りだくさんの内容で読み応え
があると思います。



おてつたびでファンづくりに取り組んだら、
猿払推しが増えた話。

OTETSUTABI

おてつたび 受け入れて 感じたコト

地域を知りたい、地域の人と関わりたいという気持ち

おてつだい以外の時間に、何を望まれているのか

複数人の参加の場合で、望まれていることが違う場合

関わる人の時間の確保

OTETSUTABI

おてつたび 猿払村の今後

民間事業者へのご紹介

地域のファンづくりにつながると考えたら、普及に支援も

自治体が単独で似たような募集をしても厳しいと思う

参加者の満足度向上のための策を検証し実行する

来村しなくても関係性を築くコトの創出

OTETSUTABI

おてつたびの良いところ

スタッフのみなさんの熱量

ユーザーファースト、事業者ファーストの考え方

おてつたびの理念に共鳴している、ユーザー・事業者の存在

自治体が募集しても届かない

地方へ関心の高いコア層へのリーチ

OTETSUTABI

おてつたびの未来

今以上に、広く認知され、活用されている未来

おてつたびの確保策という側面だけでなく、
地域のファンをつくる取組みと認識する未来

普及のために自治体ができることを最大限している未来

日本全国の地域がおてつたびを通して活性化している未来

本当の意味で、特別な地域を一人でも多くの人が見つける未来

おてつたびが当たり前。特に学生は活用してほしい。



OTETSUTABI

おてつたびの未来

おてつたびは

地方を、地域を、活性化する重要な打ち手

地域課題の解決への突破口となっている

全国に広がるコトで、次々と活性化する可能性

ひいては、日本全体が元気になる未来が

■猿払村の未来

猿払村は、紹介してきた取組みを通じて
「持続可能なまち」を実現させていきます

また、住む人たちが
人間的に、環境的に、経済的に
豊かだと感じてもらいながら
生活していただくことを目指します

持続可能なまちには
人と産業が必要です。

■猿払村の未来

そのためには

住んでいる人にも

移住を考えている人にも

観光に来た人にも

ふるさと納税してくれた人にも

■猿払村の未来

愛される「まち」

選択される「まち」を目指して

変化を恐れず

挑戦を止めず

行動し続けていきたいと考えています。

ご静聴ありがとうございました。

猿払村企画政策課 新家拓朗